

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

なごや  
ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
毎月最終例会 18:00  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
会長 和田正敏  
幹事 田部井良和  
会報・雑誌委員長 宮尾紘司

No. 26

### ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続

ROTARY 2000：ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

1999～2000年度 RI会長 カルロ・ラビッツァ

#### きょうの例会

第837回 平成12年2月2日(水)

#### 節分例会

於：城山八幡宮 17時～

#### 先週の記録

第836回 平成12年1月25日(火)

#### ◆“奉仕の理想”

#### ◆出席報告

会員 70(66)名 出席 42名  
出席率 63.64%  
前々回 1月11日 (修正出席率) 100%

#### ◆ゲスト紹介

青少年交換学生 ケイティ・ズロムさん  
千種消防署 予防課長 金井 克壽氏

#### ◆2月会員誕生日

鷺谷君(2/5)、西川君(2/12)、足立君(2/16)  
堀江君(2/16)、小坂井君(2/18)

#### ニコボックス

秋山 茂則君 歌の会2月17日参加して下さい。大利根月夜が聞けますよ！

水野 民也君 ケイトと一緒に来ました。早引きします。

鈴木 正男君 前回には小生の喜寿の御祝を頂きありがとうございました。

小林 明君、水野 賀續君 早引きします。

萩原喜代子さん、池森 由幸君、加藤 大豊君、小杉啓彰君、黒須アイ子さん、牧野登志子さん、松居 敬二君、宮尾 紘司君、森 幸一君、大口 弘和君、佐久間良治君、鈴木 理之君、竹内 眞三君、舎人 経昭君、和田 正敏君、山田 壽勝君、山本 英次君

吉田 節美君、吉田 玄君

友愛の日です。楽しく過ごしましょう。

足立 一成君、西川 豊長君、鷺谷 龍男君 会員誕生日祝い

小坂井盛雄君 満75才になりますよ、未だですが… 会員誕生日祝い

小山 雅弘君、谷口 優君 夫人誕生日祝い

大谷 和雄君 先日の祝賀会にお越し頂き有難うございました。夫人誕生日祝い

伊原 正躬君 結婚記念日祝い

菊池 昭元君 会員誕生日祝い。結婚記念日祝い。

#### 大口ライラセミナー実行副委員長 挨拶

私共、千種ロータリークラブが主催する第8回ライラセミナーの開催まで2ヶ月となりました。分科会は受講生の希望により「私のできる環境保全」のテーマが3分科会、「私のできるボランティア」が7分科会となりました。

現在のところ74クラブ143人(男性59人・女性84人)の参加があります。分科会のリーダーに指名されました20名の方々には多忙とは思いますが2日間よろしくお願ひ申し上げます。

テーマ	受講人数
第1分科会 男性7 女性8 (計15)	私のできるゴミ対策 谷口 優・池森由幸
第2分科会 男性7 女性8 (計15)	私とゴミのリサイクル 二村 聡・松居敬二
第3分科会 男性8 女性6 (計14)	私と地域社会と環境保全 鷺谷龍男・深見 章
第4分科会 男性8 女性7 (計15)	災害とボランティア 西野英樹・神崎住恵
第5分科会 男性5 女性9 (計14)	障害者とボランティア 舎人経昭・小林 明
第6分科会 男性3 女性11 (計14)	障害者とボランティア 鈴木理之・堀江宏輝
第7分科会 男性4 女性10 (計14)	福祉施設とボランティア 松島孝彰・萩原喜代子
第8分科会 男性3 女性11 (計14)	福祉施設とボランティア 石黒正則・本山 孝
第9分科会 男性7 女性7 (計14)	少子化・高齢化とボランティア 水野賀續・加藤重雄
第10分科会 男性7 女性7 (計14)	国際協力(外国人・帰国子女)とボランティア 山本眞輔・牧野登志子

## 小山 ライラセミナー実行副委員長 挨拶

私は分科会以外のいわばハードの部門を担当しています。

さて、ライラは、地区大会、地区協議会、IMがロータリアンのためのイベントであるのに対し、新世代の指導者養成を目的とした、受講生のための奉仕活動であります。又、運営面においてもホテルやイベント会社に全てを任せるのではなくホストクラブの我々による手作りのイベントと言えます。

すでに実行委員の皆様のご協力により、準備作業は着々と進んでおります。セミナー当日は別紙資料のとおり、2日間にわたり各行事が行われます。つきましては、次回ライラ・フォーラム（2月22日）までに詳細なタイムスケジュールの作成と人員の配置をいたしたいと思っておりますので、当日、ご都合の悪い方は各委員会実行委員までお申し出下さい。会場の設営から後片付けまですべてホストクラブの我々でしなければなりません。重ねて皆様のご協力をお願い致します。

## 田部井幹事報告

1. 次回例会は日時を変更し、2月2日(木)節分会を午後5時より城山八幡宮にて開催致しますので、1日(火)の昼間の例会はございません。

## 鷲谷副会長挨拶

昨年日経新聞の春秋欄に『過酷な視聴率競争の結果だとか下請けの暴走だとかいう言い訳はもう通用しない。これはもはや「やらせ」と云う範囲もはるかに越えている。フジテレビの番組「愛する二人、別れる二人」で、つくりもののうそ話を実在の男女間のトラブルと銘打って放送していたことが明らかになった。番組への疑惑は、この夏から指摘されていたがフジテレビはそれを無視してきた。言葉は少々きついかもされないが公然と視聴者を欺いて荒稼ぎを続けてきたと批判されてもやむをえない。制作現場でのモラル崩壊だけでなく、テレビなら大抵のことは許されると云う業界に染みついたおごり、視聴者をなめきった傲慢がことの背後に見える。他人の不幸は蜜の味と云うがそれはユーモアと知的な諧謔（かいぎやく）に包まれていればこそです。夜の7時台にののしり合う男女を映しだし助言者たちも含めたむきだしのいさかいを見せつけるのはいささかグロテスクではないか。人間社会の暗部に光をあてるのがジャーナリズムの役目だが仕掛けは悪趣味そのものだ。

しかしこの番組は20数%の高視聴率を誇りざっと2千万人が痴話げんかもどきを毎週凝視していた計算になる。より強い刺激を求めて制作サイドの読み通りに視聴者が動いたとすれば美意識とモラルの崩壊は、テレビ局だけでなく日本社会全体に広がっているのかも

知れない。』という記事が掲載されました。

私は、この番組をみた事はないのですが、その後のテレビ局の基本的なあり方として、どう対処したかと云いますと経営陣も含めて本質的な問題として2度とあってはならないと明確に表現したこと。具体的には番組の中止と、制作者の責任処分を決めたのであります。然し、単に、言われたからとか或いは、社会的糾弾をされたからと言ってそれでいいものなのか。実際夫婦でもないカップルを使って、興味本位の番組制作をした偽り、まやかし番組が許されるのか、何をか言わんやであります。私自身としても、かつてマスコミ関係者として誠に恥ずべき行為であり断固として鉄槌を浴びせねばならないと思います。

ここにアメリカの資料があります。インターネットや、テレビゲームの急速な浸透にもかかわらず米国の18才未満の子供は依然テレビの前に座る時間が最も長いことが非営利団体の電子メディア利用調査であきらかにになりました。

11月22日付のエレクトリック・メディア誌によると調査はカイザー・ファミリー財団が米国に住む2才～18才の子供一3,155人を対象に実施。その調査結果によれば「子供は1日平均3時間テレビを見ておりテレビゲーム20分、インターネット8分を引き離して断然トップ、特に8才以上の子供のうち約25%は1日5時間テレビを見ております。この結果子供は1週間に計40時間、電子メディアを利用していることがわかった」と云うことであります。

如何にテレビの影響が好むと好まざるとにかかわらず大きいかがお解り頂けると思います。

## 友愛の日



セントラル愛知交響楽団のフルーティストで名古屋芸術大学講師の高木 直喜さんと、名古屋音楽学校講師ピアニスト山田 敏子さんによる演奏

ポロネーズ（バッハ） 精霊の踊り（グルック）

歌の翼による幻想曲（ステックメスト）

ヴォカリーズ（ラフマニノフ） アルルの女（ビゼー）

## ◆次回例会（2月8日）

警察・消防優良職員表彰